

めぐみ

2023年
12月号

学校法人 聖公会北関東学園
認定こども園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel.222-5385 Fax 228-5010
E-mail hatsukari-kg@nifty.com

2人の大好きだった絵本

補助教諭 福島 美帆

わが家の子どもたちは、小6と中2の男子です。小学3、4年生くらいまでは毎夜、寝る前に絵本の読みきかせをする事が私の日課でした。それも高学年になると子どもたちは、自分の思うようにやりたい自由な時間の方が大切になり、「もう読まなくていいよ」と言う2人。徐々に読む機会が減り、今では全く絵本の読み聞かせタイムがなくなってしまいました。寂しい…。まあ～当たり前ですよ、それも成長と感じています。

2人の子どもたちの大好きだった絵本は童心社の「おいしいのぼうけん」と「ダンプえんちょうやっつけた」でした。これは、何回読んだかわからない程、毎日のように「これ読んで～」とリクエストしてくれた本です。子どもって不思議ですよ、好きな本なら何回読んでも飽きないし、それこそ物語やセリフも覚えてしまうほどです。絵本の世界に入り込み、自分が主人公になりきって楽しんでいる2人でした。「また同じ本？」と言いたくなるのが大人ですが、同じ本を読む事で子どもは絵本からいろいろな表現や言葉を学んで、会話でも真似して使っていた気がします。

「おいしいのぼうけん」「ダンプえんちょうやっつけた」の本はどちらも冒険のお話です。読んでいる私も毎回ハラハラドキドキ、ワクワクを感じていました。子どもたちはおいしいのぼうけんを読んだ後は、和室の押入れを覗いて確認、「ねずみばあさんってどこにいるのかな？」と怖がりながら恐る恐る覗いていました。ねずみばあさんを信じている気持ちがとってもかわいくておもしろくて、影をつくって、「ほら見て！いる、見てるよ、キャー」と言いながら遊んでいた私です。そんな2人は成長してくると今度は押入れがお昼寝場所と化しました。始めは怖がっていたのに、あらあら安心して眠れる場所になるなんて。「本当に子どもっておもしろい」と思ったことがありました。

幼稚園1歳児のつくし組から年長のすみれ組までみんな絵本の時間が大好きですよ。以前、わたげのおすすめの絵本コーナーでおもしろそうな絵本がたくさん紹介されていて、「初雁幼稚園のママとパパは楽しい絵本を見つけるアンテナがすごい、天才」と驚き、大変勉強になりました。子どもたちには絵本の中でもたくさんの経験をさせてあげたいですよ。そして読み聞かせをしてパパ、ママも脳の活性化を図りましょう。

最近、忘れっぽい私…「携帯がない」「鍵をどこへ置いたかな」「スーパーに何を買いに来たのだっけ」とボケています(汗)本を読んで脳を働かせないと。発声練習も兼ねて、昔を思い出しておいしいのぼうけんを読んでもみようと思いつきながら原稿を書きながら思っています。そばにいる息子から「うわっ」って言われそうですが^^;

現在の息子2人は、絵本ではなく、Youtubeに夢中になっている現代っ子になってしまいました。本当は教科書を読んでほしいと願っている母です。

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ
「喜びあう」

今月のねがい

- 心を合わせて喜びを表現する
- クリスマスの意味を知り、待ち、ともに祝う

学年別のねがい

- (1歳) みんなでクリスマスを迎える
- (2歳・満3歳) クリスマスをみんなで喜ぶ
- (年少組) クリスマスの意味を知り、祝う
- (年中組) みんなと心を合わせてクリスマスを祝う
- (年長組) 思いを一つにして、クリスマスを迎える

ひとこと

クリスマスツリーの飾りつけをしたり、毎日一つずつアドベントカレンダーの窓を開けたりしながら、クリスマスの日を楽しみに待つ12月。幼児部では世界で初めのクリスマスの出来事を聖劇にしてみんなで演じます。大切な役を一生懸命演じながらクリスマスの意味を知り、心を合わせてイエス様の誕生を祝います。友だちと、家族と、世界中の人々と喜びを分かち合うクリスマス。世界の平和を祈りつつ、「天には栄光、地に平和！」

今月の聖歌 「きよしこのよる」

今月の歌 「クリスマスのうたが
きこえてくるよ」



★予定★

日	曜	行事などの予定
1	金	全体礼拝
2	土	就労家庭保育実施日
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	アルミ缶回収日
8	金	全体礼拝 (聖劇練習) ↓
9	土	就労家庭保育実施日
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	12月生まれ誕生会
14	木	おはなしの会 (年中長組)
15	金	全体礼拝 (聖劇練習)
16	土	就労家庭保育実施日 市民クリスマス
17	日	
18	月	
19	火	聖劇リハーサル (年中少参観) 1号期末短縮 (半日保育)
20	水	聖劇礼拝 (年長参観)・短縮
21	木	1・2号終業式・短縮
22	金	1号冬休み
23	土	就労家庭保育実施日
24	日	クリスマスイブ
25	月	クリスマス
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	教職員預かり保育冬休み (1/3まで)
30	土	
31	日	
1月		
1	月	元日
3	水	
4	木	
6	土	就労家庭保育実施日
9	火	1・2号始業式・短縮 (半日保育)

チャプレンのページ

クリスマスに寄せて



宿屋には彼らの泊まる所がなかったからである

ルカによる福音書 第2章7節 聖書協会共同訳

新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更されて初めての冬を迎えます。ここ数年、人が集まるのは危険であるとか、賑やかに歌ったり踊ったりするのはもってのほかであると言われましたので、今年はこの何年かを払拭するかのように、これから街中は賑やかになるでしょうか…。

イエス様が誕生される直前、ユダヤの国に人口調査の勅令が出ました。これは、ユダヤを属州支配していたローマ帝国初代皇帝、アウグストゥスによって出された、人頭税を課すための最初の人口調査でした。

その方法は、自分が居住しているところではなく、出身地へ出向いて行わねばなりませんでした。しかも確実を期するため、家族全員が出身地へ赴かねばならないという厳しい勅令だったのです。

ヨセフはマリアを連れ、住んでいたナザレから、険しい山道が続く約180km離れた、ダビデ家の故郷ベツレヘムへの旅を余儀なくされました。マリアはすでに臨月を迎え、長旅は非常に危険でしたが、そのような事情は一切考慮されません。属州支配の厳しさを感じさせます。

ベツレヘムは小さな村でしたので、大勢の人たちを受け入れるのは困難でした。ところがダビデ家の子孫はヨセフだけでなく大勢いましたので、あっという間にベツレヘムは人であふれてしまいました。ヨセフとマリアがベツレヘムへ到着した際、すでに彼らの泊まる所はなく、誕生したイエス様は産着にくるまれ飼いやおけに寝かされました。誕生したばかりの人間が寝かされるのに最も適さないところへイエス様は寝かされたのです。

このようにイエス様が誕生した時のベツレヘムは、人口調査のため町中が混乱し、臨月を迎えた女性が安心して出産できる場所もなかったのです。すでに宿泊していた人たちが自分のことしか考えなかったのかもしれませんが、イエス様の誕生はベツレヘム最大の混乱の中での出来事であったと言えそうです。

現在イスラエルでは、ガザを中心に戦闘が続いています。イスラム原理組織ハマスとイスラエル（ユダヤ人）との争いばかりがクローズアップされていますが、パレスチナに住む大勢のアラブ系の人々の命が毎日危機にさらされています。

イエス様が誕生したベツレヘムは、いわゆるヨルダン川西岸地域に含まれ、現在難民キャンプも設置されています。イエス様誕生以来の大混乱の中で、ベツレヘムは今年のクリスマスを迎えようとしています。

本年も幼稚園の園児たちが、イエス様の誕生を私たちに語ってくれます。そのメッセージをともにご覧いただきつつ、今年は特に、イエス様が誕生された地の平和が一日も早く実現しますよう、ともに願い、祈りたいと思います。

(鈴木 伸明)

クラスの窓



つくし組

思いが爆発…心が大きく成長する大切な時期

園生活を重ね、たくましく成長しているつくし組。できることも増えお兄ちゃんお姉ちゃんに憧れ、「自分でやってみたい」「こうしてみたかった」と思いを言葉や仕草で主張することが増えてきました。うまくいくこともあるけれど、自分はこうしたかったのに思うようにいかなかった、やってみたいのにどうしたらいいのかわからない…葛藤の日々。もどかしい気持ちが爆発して時には涙し、全身で「いやー」と表現することも。階段をこういうふうに降りたかった、散歩の途中で何かみたいものがあったなど、大人にとっては些細な事柄かもしれませんが、子どもたちにとっては一大事！「こうしてみたらどうか」とちょっとしたアドバイスをしてみたり、気持ちをリセットするために、思い切って全く違うことをして気分転換をしてみたりしてから、再チャレンジやお話をするなどしています。自分の思いが通じた、何かを成し遂げた時の子どもたちの笑顔の素敵なこと♡思いが爆発し、心が大きく成長する大切な時期をみんなで楽しく過ごしていきたいと思っています！

もも組

初めての収穫感謝

毎年幼児部が参加している収穫感謝礼拝に、今年初めてもも組が参加をしてみました。神様にお捧げするために、各家庭から野菜や果物を持ってきてもらいました。登園の時から嬉しそうなお子、「なんで野菜がバックに？」の子どもたち。友だちや先生たちに「これ持ってきたんだ」や「あれ、袋に入ってるのはなんだ？」と言って袋をあけて覗き込む姿も見られました。礼拝が始まる前に、もも組が最初に野菜、果物を捧げることもできました。幼児部が捧げるために並び始めると、どんな物が捧げられるのかも楽しみだったようで、年長中少組の子どもたちが並んで順番に捧げるのを「じーっ」と観察。同じ野菜、知っている野菜があると「あれは大根」「同じりんごもってきてる！やったー」とみんな喜んでいました。礼拝は最前列で参加したので、いつもとは違う雰囲気になんてドキドキした子どもたちでした。夕方は雨がやんだのでつくし組と合同で、園庭で収穫したみかんを子どもたちと関わりのあるお店2軒に届けることもしました。子どもたちにとって、よい経験と刺激をもらった日になりました！

ちゅうりっぷ組

絵本大好き♡



ちゅうりっぷ組の子どもたちは絵本が大好きです。集まりで読む絵本はさまざまですが、短い話を読むと子どもたちからは「はやーい！」という声があがります。少し長めの物語も夢中になって楽しめるようになりました。先日、私が大好きな絵本「ほげちゃん」をクラスで読みました。大暴れしたり、ケチャップまみれになってしまう、ほげちゃんに子どもたちは大笑い。その日から子どもたちは、何度もほげ

ちゃんの絵本を手にして繰り返し楽しんでいきます。

喜多院遠足で連れて帰ってきたザリガニのことも図鑑でよく調べています。ザリガニと図鑑を何度も交互に見て性別や餌を調べたりして、どんどん関心が深まっています。みんなで愛情いっぱい育てているザリガニは「ザリーちゃん」と、なんともかわいい名前になりました。これからもたくさんの絵本に出会い、絵本の世界を楽しんで、みんなの心も豊かに育っていくことを願います。

たんぽぽ組

みんなで作った出し物！

たんぽぽ組は、11月の誕生会の出し物担当でした。みんなに楽しんでもらえるように、「ひみつのそうだん」と題して、クラスで話をしてきました。

最初の話し合いでは、「なんでもいいよ」と言う子が何人かいて、決まりませんでした。何をすべきかははっきりするとがんばれるたんぽぽ組。自分の意見は控えめなところに、このクラスの「らしさ」を感じました。一方で、友だちの思いを汲み取ることはみんな積極的！「恥ずかしい」と言えば「人形が一緒ならステージに立てるのでは？」、「それは嫌だ」と言えば「どうして嫌なの？」、とやりたいことにプラスして、みんなの気持ちを共有していきました。

初めから出ていた、「おまつり」「クジラ」「歌」「体操」が出てくる絵本「うみのおまつりどどんとせ」を担当を見つけ、その話をベースに行うことになりました。時には、意見が絞れず、あみだくじやリングをして、一つの案に絞る経験もしました。当日まで一生懸命取り組み、無事大成功！アンコールを3回ももらって、それでもまだまだやる気満々な様子の子どもたちでした♪

(鷲巢 春香)

すみれ組

聖劇礼拝の役決め…葛藤しながら考えた時間に

聖劇礼拝の役決めをしました！役決めの前に、聖劇ごっこを行い、やってみたい役にひと通

り挑戦します。やりたい役が決まっている子もいましたが、実際に挑戦してみることで、思いが変わる姿もありました。

迎えた役決め時間。もう決めている子、まだ悩んでいる子とそれぞれでしたが、最終的には一つを決め、1人ずつ保育者に伝えます。それをホワイトボードに貼り出し、人数内の役は決定！多くなったところは話し合います。全員が納得できる方法で、それぞれ決めました。やりたい役になれず、思いが溢れる子、ぐっと堪える子と、姿はそれぞれですが、悔しい気持ちは痛いほど伝わってきました。それでも残った役の中から決め、全員の役が決まりました。

これまでたくさん話し合いを重ねてきたすみれ組。自分の思いを伝えることも、相手の気持ちを考えることも、少しずつ上手になってきました。涙を流した子もいましたが、自分のやりたい気持ちを伝え、葛藤しながら考えたこの時間は、周りで見えていた子たちにも、大きな経験となったと思います。決まった役を誇らしげに伝える姿は、とてもたのしく見えました。23人揃って聖劇礼拝を迎えられることを願っています☆



今月の聖書のおはなし



☆ 12月1日「クリスマス物語Ⅱ 羊飼いの訪問、東の博士たち」ルカによる福音書2:8~21

ベツレヘムの近くの野原では、羊飼いたちが野宿をしながら夜通し羊の群れの番をしていました。すると辺りが急に明るくなり天使が現れました。「今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」乳飲み子を探し当てた羊飼いはすべてが天使の話したとおりだったので、神をあがめ賛美しました。幼子が生まれてから8日を迎えた日、天使から示されたとおりにイエスと名づけられました。

そのころ、ヘロデ王のもとに東の方から占星術の博士たちが来て言いました。「ユダヤ人の王様としてお生まれになった方はどこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので拝みに来たのです。」これを聞いてヘロデ王は不安になり、国中の祭司長や律法学者たちを集めて調べさせました。ベツレヘムに生まれたことを知ったヘロデ王はもう一度博士たちを呼び寄せ、「私も拝みたいので家まで探してくるように」と命じました。星に導かれて幼子を見つけ出した博士たちはひれ伏して拝み、黄金・乳香・没薬を贈り物として捧げました。そして夢の中で「ヘロデのところへ帰るな」と言うお告げがあったので、それぞれの国にそのまま帰っていきました。

博士たちが帰ると天使がヨセフの夢にも現れ、言いました。「起きて子どもとその母親を連れてエジプトに逃げ、私が告げるまでそこにいなさい。ヘロデがこの子を殺そうとしている。」ヨセフは夜のうちに二人を連れてエジプトに去り、ヘロデが死ぬまでそこにいました。博士たちに騙されたことを知ったヘロデは大いに怒り、ベツレヘム周辺一帯にいた2歳以下の男の子を一人残らず殺してしまいました。

わが家のまど



(296) 似ているところ、好きなこと

もも組担当教諭 味戸夢香里

私の顔は昔から父に似ていると言われてきました。ただ右の目は母の一重、左は父の二重が遺伝しており自分ではよくわかりません。性格も半々な感じですが、好きなものは割と父からの影響を受けたところが大きいと思っています。例えば刑事ドラマが好きなど。小学生の頃、『はぐれ刑事』が大好きで毎週父と一緒に観ていました。小学生ながら犯人を推理するのが大好きでそこから推理物も好きになり、次にハマったのが「名探偵コナン」でした。こちらも毎週一緒にアニメを観ていて、誕生日に単行本10巻プレゼントしてもらい今では全巻そろっています♪もう1つはテレビでのスポーツ観戦。もともと巨人軍のファンだった父。当時19時に強制的に野球を観る家だったので選手の名前や背番号等も暗記してしまいクラスの野球少年よりも詳しくなっていました。野球に始まり箱根駅伝や世界選手権、オリンピック等も一緒に観ては父に競技のルールを覚えてもらい、私もスポーツ観戦が好きになりました。それから写真の通り派手好きも父の影響かもしれません。なんと派手な親子（特に父）だ、と思い撮ってもらったこの1枚。LINEのアイコンはほとんど甥っ子たちになっている父ですが、このツーショットを撮ったときはこの写真をアイコンにしてくれました。娘との久しぶりのツーショットが嬉しかったのでしょう。かわいい父です。